

平成 28 年度第 1 回三島総合病院地域協議会 議事概要

【日 時】平成 28 年 10 月 27 日（木） 13：30～14：45

【場 所】三島総合病院 第 1 会議室

【議 題】 1. 患者数について
2. 医師確保について
3. その他

【出席者】三枝知子（三島市健康推進部健康づくり課長）

関 俊夫（三島市医師会長）

志村 肇（三島市押切自治会役員）

松田義雄（三島総合病院長）、平塚世津子（三島総合病院総看護師長）

樋川洋一（三島総合病院事務長）、椎橋卓人（三島総合病院附属介護老人
保健施設課長補佐）

【概 要】

1. 患者数について

- ・患者数が減っている理由は何か。
 - ⇒ 医師が減少傾向にあり、なかなか受け入れが出来ない状況である。
 - ⇒ この地域では二つの大きな医療機関があり機能しているが、各市町で考えた時必ずしも機能しているとは言えない。
 - ⇒ 二つの病院があまりにも大きく研修医等も症例が少ない他の病院へは行きたがらない傾向にある。三島総合病院も救急医療において頑張っているが、医師の高齢化が進みその後続く若手が定着しないことが課題である。
- ・病院として何か特色を出す必要があるのではないか。
 - ⇒ 現在行っている「もの忘れ外来」は時代のニーズに合っている。

2. 医師確保（周産期センターを含む）について

- ・医師が来ない理由はあるか。
 - ⇒ 全国的に不足しているのは事実であるが、都市部に医師が集中する傾向がある。特に静岡県東部は厳しい状況である。
 - ⇒ 周産期センターも医師の確保ができ完全に機能すれば大きな特色となる。
- ・医師会との連携どうか。
 - ⇒ 現在でも開業医と連携して手術等を行っている。
 - ⇒ 以前は症例検討会等非常によく機能していたが今はあまり機能していない。
 - ⇒ 医師会との連携を更に深めるよう努力します。

3. その他

- ・病院の雰囲気がよくなっている
 - ⇒ 時代の変化によりサービス業としての認識が浸透している。
- ・住民健診、マンモグラフィーの受入について
 - ⇒ 三島総合病院を希望する住民が多いが予約できない状況があるので体制を整えてもらいたい。
 - ⇒ 体制を見直します。

—以上—